

# 令和4年度 第12期ふくまる教志塾がスタート！

ふくまる教志塾がスタートしました。

令和4年度ふくまる教志塾は、4月1日から4月30日の間、塾生の募集受付を行い、17名の申し込みがありました。

5月7日（土）午前と9日から13日の17時から随時面接を行い、全員を池田ふくまる教志塾の第12期生として認定しました。

そのうちの14名は、毎月のセミナーに加え、市内の各小中学校及び義務教育学校で現場実習生として教職員や子どもたちと直接かかわります。

.....

## 第1回「ふくまる夢たまごセミナー（開塾式）」

日時 5月20日（金）18：00～20：00

場所 池田市庁舎7階大会議室

内容 ①開塾の挨拶……池田市教育委員会 大賀 教育部長

② 記念講演

演題 「教師をめざすみなさんへ」

講師 鎌田 富夫 先生（元池田小学校校長）

③ 感想の交流

④ 閉会



今年度最初の「第1回ふくまる夢たまごセミナー（開塾式）」には、14名の塾生が参加しました。

「ふくまる塾長」も、開塾式に出席し、緊張している塾生のみなさんを見守りました。

はじめに、大賀教育部長から「池田市は、ふくまる教志塾の12期生として17名のみなさんを迎えました。みなさんは、この教志塾で池田の教育について学び、将来は是非、先生として活躍してくれることを期待しています。」と、励ましの言葉がありました。



記念講演の講師、鎌田先生は、大学をご卒業後、池田市立池田小学校に赴任されました。その後、呉服小学校、教育委員会指導主事、池田小学校教頭、平成11年からは、再び、池田市教育委員会で活躍されました。平成19年度には、池田小学校校長として着任、6年間勤められました。定年退職を迎えられた後も、このセミナーのアドバイザーとしてご尽力いただき、現在も、市内小学校で子どもたちをサポートしてくださっています。

講演では、「教師をめざすみなさんへ」と題し、様々なエピソードを交えながら、すぐには役に立たない教育の話を行いました。

以下、鎌田先生が話された講演の一部と、塾生の「セミナー受講の感想」を掲載しています。

## 「教師をめざすみなさんへ」

### はじめに

「すぐ役立つことは、すぐ役立たなくなる」(橋本武)

教育界には「あした使える」「すぐ使える」といったタイトルの本があふれている。心と時間に余裕がないときは、確かに魅力的に感じる。しかし、教育は人と人との営みの上に成り立つものである。先輩の話を聞いたり、専門的な実践を交流したり、教育について深く考えることが必要ではないか。

### わたしの教育観を揺さぶった言葉

「それを覚悟で先生になったんでしょ」(保護者)

『先生は、うちの子に傷つけられたと、よくおっしゃいましたね。うちの子が悪いのはよくわかっています。でも子どもに傷つけられるのが教師の仕事じゃないんですか。それを覚悟で教師になったんでしょ。先生は困ったことはすぐに親にいうことができますよね。反対に、先生は子どもの心を傷つけていなかったですか？うちの子は傷ついてもうまくいえなかったんです。先生、わかりますか。』



若い担任は、このお母さんの想いをどこまで理解しただろう、自分とこの児童との関わりをどの程度反省したのだろう。この時のお母さんの言葉をいつまでも心に留め、子どもや保護者に寄り添い受容できる教師に育ってほしいと願った。



「教師ほど犯罪的な職業はない」（親友の言葉）

「先生の言うことを聞いていたのに」（大川小学校津波訴訟）

「俺、先生のこと嫌いでした。だから俺も嫌われる教師になろうと思います。」（白鶴酒造 CM 同窓会編）



**学校を「脅威・苦」の場にしないために**

「キョウヨウ」と「キョウイク」  
学校は「共育」の場でなければならない  
「平等」と「公平」

**教育の醍醐味はアナログにある  
教育はもっと「寛容」であってほしい**

## インタビューと授業づくり

国谷裕子キャスターに学ぶ

- ・準備が必要（準備しているかいないか相手は見抜く）
- ・待つことは聞くことにつながる
- ・シナリオ通りに進めようとすれば相手の言葉が聞こえなくなる
- ・準備したものを捨てる勇氣
- ・インタビュー＝授業

## < 塾生の感想より >

○私も子どもたちと関わる中で、子どもの豊かな感性や視点に素直に凄いなと思うことがたくさんあります。その子どもたちのいいところを教師がつぶしてしまわないように、寛容な心とユーモアを持って子どもたちと関わっていきたいと思いました。